

特集

コロナ禍の子ども

ユニセフ報告書「レポートカード16」より
コロナ禍の子どもの幸福度について考える 高橋愛子

コロナ禍の子どもの健康課題
「2020年度学校健診後治療調査」の結果より 鈴木沙波

コロナ禍の子どもたちの心とからだに起きていたこと
「コロナ×こどもアンケート」より 半谷まゆみ

コロナ禍の予期せぬ妊娠の実態と支援のあり方を考える
安達知子

感染症流行下における乳幼児健康診査のあり方を考える
小枝達也

トラウマインフォームドケア（TIC）の視点で考える
コロナ禍の子どもと保護者の心の健康問題 酒井佐枝子

Pick Up

誰もが役割を持って社会参加できる居場所をつくる
その取り組みの展開と視点 河本歩美

特別記事

COVID-19 感染拡大により
保健センターに生じた課題と取り組み 鳩野洋子

COVID-19 対応や災害支援時における PFA に基づく
セルフケアと相互支援 香月富士日

連載

ここがポイント！ アレルギーの「保健指導」 大矢幸弘

ポジティブな地域づくりを考える 公共哲学×ポジティブ心理学から見る
公衆衛生活動 島井哲志、小林正弥

編集後記

●コロナ禍で通いの場の91%が休止を経験したとの報告もありますが、活動再開においては感染予防やICT活用等、工夫された取り組みも多いかと思います。今号のPick Upの長浜市のご活動も感染予防に配慮して少しずつ再開されているとのことでした。●保健師ジャーナルにも変化の 때가訪れ、隔月刊化することとなりました。情報の入手源が多様化する中、弊社の看護系雑誌は一部を除き隔月刊化することとなりました。さみしい思いもあるのですが、全面カラー化し、より質の高い情報をお届けできるように精進してまいります。今後ともよろしくお願いします。（長原）

●今号より偶数月発行の隔月刊になるとともに、全体をカラー誌面にしました。年間6号の発行で、より読者の皆さまに役立つ内容とすることや、カラー誌面を生かすことなど、模索しつつ誌面をさらに充実できるよう努めて参ります。忌憚のないご意見・ご感想をいただけますと幸いです。（小林）

●訂正とお詫び：2021年12月号979頁において執筆者の大堀雄一郎氏の所属表記に誤りがありました。正しくは「富田林市市長公室政策推進課主幹兼企画調整係長」（下線部を修正）です。ここに訂正しお詫びを申し上げます。（編集室）

保健師ジャーナル 第78巻1号 2022年2月10日発行（隔月10日発行）
発行：株式会社医学書院 代表者 金原俊 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23
Published by IGAKU-SHOIN Ltd, 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2022, Printed in Japan
印刷：株式会社アイワード

1部定価：1,760円（本体1,600円＋税10%）

2022年年間購読料（送料弊社負担）冊子版または電子版：本体10,032円（本体9,120円＋税10%）、冊子＋電子版：13,332円（本体12,120円＋税10%）
www.igaku-shoin.co.jp/journal/664（「保健師ジャーナル」で検索）

販売・PR部：☎（03）3817-5659 保健師ジャーナル編集室：☎（03）3817-5774 hokenshi@igaku-shoin.co.jp 担当：小林、長原、伊藤

🐦 www.twitter.com/hokenshiJ 📘 www.facebook.com/hokenshiJ 📷 www.instagram.com/hokenshi_journal（「保健師ジャーナル」で検索）

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は株式会社医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為（複写、スキャン、デジタルデータ化など）は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的（診療、研究活動を含む）で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

📄 JCOPY 出版者著作権管理機構委託出版物

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構（電話03-5244-5088、FAX03-5244-5089、info@jcopy.or.jp）の承諾を得てください。

*「保健師ジャーナル」は株式会社医学書院の登録商標です。